



防災が「忘災」になるまえに…

今すぐ始めよう!わが家の防災計画

地震雲や動物の行動観測など、今日さまざまな地震予知が試されるもののその情報はまだまだ不確定。来たるべき大地震には、やはり備えが不可欠です。今回は、ご家族の防災意識レベルをチェックしてみましょう。

チェック1 身のまわりの防災意識

室内で地震におそわれた場合、家具が一変、恐ろしい凶器になることも。万が一に備えて、高所の収納・戸棚のトビラ・窓ガラスの強度のチェックなど、お休みの日などにご家族で住まいを総点検してみましょう。

身のまわりの防災ポイント ✓

- 家具の上には重いものを置いていない
- たんすや本棚は留め具などで固定している
- 食器棚などのガラスには飛散防止シートを貼っている

チェック2 非常用グッズの準備

震災時は、飲み水や食料の確保がとてもしんどくなります。支援活動を持つ間の食料として、最低3日分(飲料水の場合、1人1日3リットル)は常備しておきたいものです。

非常用グッズのチェックポイント ✓

- 非常用グッズは持ち出し袋にまとめている
- 飲料水や非常食は最低3日分備蓄している
- 食料の保存期限、調理に必要な器具もチェックしている

チェック3 避難シミュレーション

万が一の場合、バラバラになったご家族の安否や居場所の確認が困難です。いち早く確認をとるためにも、非常時の避難(集合)場所や行動パターンなどを事前に話し合っておきましょう。

避難時を想定したチェックポイント ✓

- 家族全員が非常用グッズの置き場所を知っている
- 災害避難場所とルートは複数確認し合っている



<耳ヨリ情報>

飲料水、非常食、携帯ラジオ、ナイフ…。ついつい増える非常用グッズですが、気をつけたいのが「袋の重さ」。特にお子様をお連れのご家庭は、ラクに避難できるよう中身を吟味して、少しでも軽くしましょう。



防災チェックの数はいかがでしたか？

まだ少ない方もご家族全員で話し合っ、万が一に備えましょう。

住まいの耐震補強など、災害対策に関するご相談は弊社までどうぞ。